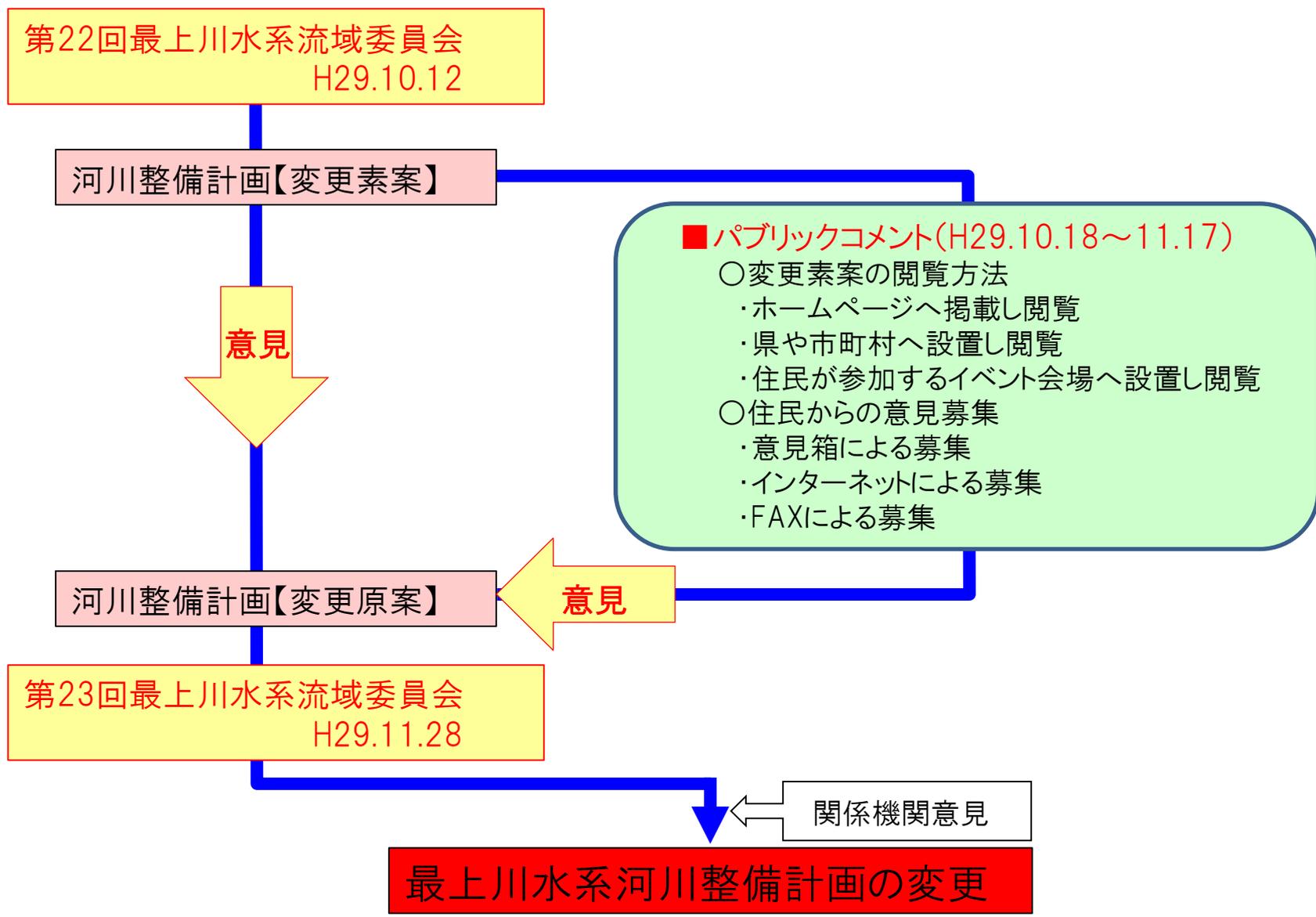


最上川水系流域委員会

河川整備計画(変更素案)に対する 意見聴取結果について

平成29年11月28日
国土交通省 東北地方整備局

河川整備計画(変更素案)に対する意見聴取結果について



意見聴取等の実施結果

●郵送、投函等による意見募集

(平成29年10月18日～11月17日)

方法	提出者数	意見数
郵送	1人	1件
投函	13人	13件
HP書込	0人	0件
FAX	0人	0件
合計	14人	14件

●集計した意見の分類ごとの整理

意見分類	意見総数
1. 河川整備の実施	11件
2. 利水	0件
3. 環境	1件
4. 維持管理	1件
5. 危機管理体制の整備・強化	1件
6. 河川整備計画全般	0件
7. その他	0件
合計	14件

市町村広報誌掲載

●5市7町の広報誌に掲載(山形市・米沢市・天童市・上山市・南陽市・西川町・河北町・高島町・白鷹町・金山町・舟形町・庄内町)

山形市「平成29年11月1日号」

最上川の川づくりに関する意見を募集しています

国土交通省では、「最上川水系河川整備計画(変更素案)」に対するご意見を募集しています。

▼閲覧場所／・山形市役所 1階正面入口、山形河川国道事務所または各出張所・山形河川国道事務所ホームページ

▼問い合わせ／山形河川国道事務所調査第一課 ☎023(688)8933

米沢市「平成29年10月15日号」

最上川の川づくりに関する意見をお寄せください

「最上川水系河川整備計画」への意見を募集します。■募集期間／10月16日(月)～11月15日(水) ■閲覧場所／情報公開コーナー(市役所4階)、山形河川国道事務所・各出張所 ■提出方法／郵送、ホームページなど ■提出・問合せ／山形河川国道事務所 ☎023-688-8933

舟形町「平成29年10月27日号」

最上川の川づくりに関する意見を募集

国土交通省では、「最上川水系河川整備計画(変更素案)」に対するご意見を募集しています。

▼閲覧場所／・舟形町住民税務課危機管理室・山形河川国道事務所または各出張所・山形河川国道事務所ホームページ

▼問い合わせ／山形河川国道事務所調査第一課 ☎023(688)8933

高島町「平成29年11月号」

川づくりに関する意見募集

国土交通省では、「最上川水系河川整備計画(変更素案)」に対するご意見を募集しています。

▼公開・閲覧方法／町役場1階出張所、ホームページにて

▼応募方法／閲覧箇所での投函、FAX、ホームページから

▼応募締切／11月15日(水)

▼応募・問合せ先／山形河川国道事務所調査第一課 ☎023(688)8933

庄内町「平成29年11月5日号」

最上川の川づくりに関する意見を募集します

「最上川水系河川整備計画(変更素案)」への意見を募集しています。

●公開・閲覧場所／庄内町役場本庁各総合窓口、酒田河川国道事務所、酒田出張所、山形河川国道事務所ホームページ

●募集方法／閲覧箇所での投函、FAXまたは山形河川事務所ホームページから意見をお寄せください。

●募集期間／11月15日(水)

●問い合わせ／山形河川国道事務所調査第一課 ☎0231688933

河北町「平成29年11月1日号」

最上川の川づくりに関する意見を募集

国土交通省では、「最上川水系河川整備計画(変更素案)」に対するご意見を募集しています。

【公開・閲覧方法】役場1階正面入口、山形河川国道事務所または各出張所・山形河川国道事務所ホームページ

【募集期間】11月17日(金)まで、閲覧箇所での投函、FAX、または山形河川国道事務所ホームページから意見をお寄せください。

【問合せ・応募】山形河川国道事務所調査第一課 ☎023(688)8933

素案(閲覧用)、パンフレット(配布用)設置状況

<設置場所 52箇所>

最上川河川整備計画の変更について
ご意見をお聴かせください

～最上川水系河川整備計画について～

国土交通省 東北地方整備局
山形河川国道事務所・新庄河川事務所・酒田河川国道事務所・最上川ダム統合管理事務所

インターネットにてご意見をお寄せください
11月17日(金)まで

みなさまのご意見をお聴かせください

11月17日(金)まで

インターネットでの意見受付

このパンフレットを山形河川国道事務所のホームページへジャンプします。

ご意見を募集しています

お問い合わせ先
東北地方整備局
山形河川国道事務所 調査第一課 〒990-9580 山形県山形市成沢西四丁目3-55
TEL:023-688-8933 FAX:023-688-8438

<素案閲覧・パンフレット配布状況>



山形県庁



長井市役所

整備計画【変更素案】に対する意見と整備計画(変更原案)における考え方

◆意見分類:河川整備の実施

○整備計画①について、堤防を設置、整備することで被害を抑えることは良いことだと思うが、その結果、河川整備計画の基本方針の景観の考えからすれば、河川付近の景観を破壊することになりかねないのではないか。

輪中堤に関しても資料の図によれば、家屋への浸水害を抑えているが周辺の田畑へ浸水しているように見える。洪水が発生した場合に悠長なことは言えないことは重々承知しているが、家屋、農地及び河川周辺の配慮をしつつ、インフラを整備してほしい。

○まだ堤防がなく、遊水するような地域があるので、現行の堤防の嵩上げを考慮してもらいたい。(皿島地区)

鮭川のことになります。最上川の水位が上昇し、鮭川の水が流入できないことで、鮭川の川底に様々なものが堆積しているように感じる。他の河川にも同様なことが考えられると思うので、河川の調査・整備について検討してほしい。

<対応方針>

工事等改変の必要な箇所については、専門家等の意見を踏まえ、景観へ与える影響が極力小さくなるよう努め、工事等の予定が無い箇所については、現状のままの保全に努めます。

河川全体の自然・歴史・文化との調和に配慮し、住民との合意形成を図りながら、段階的に地域特性及び地区ごとのバランスに配慮して整備を実施します。

最上川本川については、戦後最大規模の洪水である昭和42年8月洪水（置賜・村山地域）と昭和44年8月洪水（最上・庄内地域）の二つの洪水と同等規模の洪水が再び発生した場合に想定される住家への氾濫被害を防ぐとともに、農耕地については平成9年6月洪水と同等規模の洪水による冠水を極力軽減させることを目標に整備を進めます。

◆意見分類:河川整備の実施

<整備計画(変更原案)における記載内容>

5. 河川整備の実施に関する事項／5.1.3(2) 良好な景観の保全 【変更原案121頁】

河川景観の評価が高い箇所においては、河川工事等による景観改変を極力小さくするよう努め、良好な景観の保全に努めます。

地域の自然、歴史、文化等の地域固有の特性と密接に関連する良好な景観を有する区域に対して河川整備等を行う場合は、県、市町村、NPO法人、地元住民等の意見を踏まえ、地域と連携して周囲と調和した景観に配慮し河川空間の保全・形成に努めます。

また、舟運時代の名残を活用した歴史的景勝地等は必要に応じて修景(大石田町等)を実施します。

<整備計画(変更原案)における記載内容>

4. 河川整備の目標に関する事項／4.1.2(1) 外水対策 【変更原案85頁】

最上川本川については、村山及び置賜地域で戦後最大の洪水である昭和42年8月洪水(羽越水害)と、最上及び庄内地域で戦後に発生した最大規模の洪水である昭和44年8月洪水の二つの洪水と同等規模の洪水が再び発生した場合に想定される住家への氾濫被害を防ぐとともに、農耕地については平成9年6月洪水と同等規模の洪水による冠水を極力軽減させることを整備目標とします。支川(須川、鮭川、京田川、)については、表4-1に示す対象洪水を整備目標とします。その他の支川については本川との整備バランスを考慮して整備を図ります。

過去の洪水による氾濫箇所や浸水被害、土地利用状況等を勘案し、計画期間内において一連効果の発現が図られるよう、河道の整備と洪水調節施設の整備を効率的に実施し、整備目標を達成できりよう努めます。

整備計画【変更素案】に対する意見と整備計画(変更原案)における考え方

◆意見分類:河川整備の実施

- 最近日本各地で異常気象に伴う洪水被害が散見されるようになってきているため、一刻も早い整備を希望します。
- 水害を十分考慮した計画にしてください。
- 山形県にある最上川はほぼすべての市町村を流域としているなど他県には無い母なる川である。と同時に近年の豪雨災害をはじめとした災害が多く発生しており、河川整備の対策は十分に行う必要がある。また山辺町でいえば、須川など、最上川に注ぐ河川も多くあり、その整備にもこれまで以上、力を注ぐ必要あり。
- この変更素案は良いと思います。

<対応方針>

最上川水系河川整備計画は、戦後最大規模の洪水である昭和42年8月洪水（置賜・村山地域）と昭和44年8月洪水（最上・庄内地域）の二つの洪水と同等規模の洪水が再び発生した場合に想定される住家への氾濫被害を防ぐとともに、農耕地については平成9年6月洪水と同等規模の洪水による冠水を極力軽減されることを目標にしています。

整備の進め方については、過去の洪水による氾濫箇所や浸水被害、土地利用状況等を勘案し、計画期間（平成14年～平成43年）内において一連効果の発現が図られるよう、河道の整備と洪水調節施設の整備を効率的に実施し、整備目標を達成するよう計画的に進めています。

<整備計画（変更原案）における記載内容>

4. 河川整備の目標に関する事項／4.1.2(1) 外水対策【変更原案85頁】

最上川本川については、村山及び置賜地域で戦後に発生した最大規模の洪水である昭和42年8月洪水（羽越豪雨）と、最上及び庄内地域で戦後に発生した最大規模の洪水である昭和44年8月洪水の二つの洪水と同等規模の洪水が再び発生した場合に想定される住家への氾濫被害を防ぐとともに、農耕地については平成9年6月洪水と同等規模の洪水による冠水を極力軽減させることを整備目標とします。支川（須川、鮭川、京田川）については、表4-1に示す対象洪水を整備目標とします。その他の支川については本川との整備バランスを考慮して整備を図ります。

過去の洪水による氾濫箇所や浸水被害、土地利用状況等を勘案し、計画期間内において一連効果の発現が図られるよう、河道の整備と洪水調節施設の整備を効率的に実施し、整備目標を達成するよう努めます。

◆意見分類:河川整備の実施

<整備計画(変更原案)における記載内容>

4. 河川整備の目標に関する事項／4.1.2(3) 超過洪水への対応【変更原案87頁】

施設の能力を上回る洪水等が発生した場合においても、人命・資産・社会経済の被害をできる限り軽減することを目標として、施設の構造や運用等を工夫するとともに、関係機関と連携して、円滑かつ迅速な避難の促進、的確な水防活動の促進、迅速な応急活動の実施、水害リスクを考慮したまちづくり・地域づくりの促進を図ります。

また、地域住民も参加した防災訓練等により災害時のみならず、平常時からの防災意識の向上に努めることにより、危機管理型ハード対策とソフト対策を一体的・計画的に促進し、想定される最大規模の洪水等が発生した場合においても、人命・資産・社会経済の被害をできる限り軽減できるよう努めます。

<整備計画(変更原案)における記載内容>

4. 河川整備の目標に関する事項／4.1.2(4) 内水被害への対応【変更原案87頁】

関係市町村との情報共有等による内水被害への迅速な対応や情報収集に努めるとともに、排水ピット及び排水ポンプ車等の既存施設の適正な運用、効率化を徹底し、被害の軽減に努めます。

特に、最上川はその地形的特性である狭窄部上流や蛇行の著しい区間において、背水による水位の上昇や洪水継続時間が長引く影響等により、内水被害が頻発していることから、内水対策については、内水氾濫被害状況を踏まえ、関係機関と連携、調整し、必要な対策を実施します。

◆意見分類:河川整備の実施

○大雨の時や台風等の増水時に須川の水位や小鶴沢川の水位が上昇して、家の近くまで川の水が逆流してきたときがあってとても恐かったです。(その時は水門を閉じられたため水が流れず逆流してきたのですが...)そこで、色々な問題があると思いますが、川の底を深くしたり、川幅を広げたり、もしくは護岸工事を進めていただけたらと思いますので、どうかよろしくお願いします。

○河川(須川)の水位が上昇した時に、ゲートを閉められますが、支川への逆流を防ぐ又は堤防が被災し洪水をおこすことを防ぐ為と思いますが、支川部も洪水をおこし被災しております。(近年のゲリラ豪雨で)ので早期の河床掘削等で現状を打破していただくようお願いします。

<対応方針>

須川の堤防整備は概ね完了していますが、河道の目標流量を安全に流下させるため、今後、河道の断面積の確保や河道の安定のための河道掘削、河岸防護を実施していきます。

<整備計画(変更原案)における記載内容>

5. 河川整備の実施に関する事項／5.1.1(3) 河道掘削等【変更原案106頁】

堤防整備が完了しても河道の流下断面積が不足している箇所及び流向が治水上危険な水衝部等の箇所については、河道の目標流量が安全に流下できず浸水被害が生じる恐れがあります。このため、河道の断面積の確保や河道安定のための河道掘削及び河岸防護のための水制工の改築を実施します。

河道掘削等の計画にあたっては、多自然川づくりを基本とし、再堆積を考慮し治水効果を確保しつつ、専門家や地域の意向等を踏まえ、河川環境への影響把握に努めるとともに、湧水が見られる細流やワンド・たまり、瀬・淵等、最上川の多様な動植物の生息・生育・繁殖環境等に配慮し、平水位以上の掘削を基本とします。

また、重要な湿地性植物等の生育環境に配慮し、掘削表土を戻して湿地性植物群落の創出を促すとともに、緩い法勾配での掘削、凹凸を設ける等、掘削形状の工夫により、湿地環境をはじめ、多様な水辺環境の創出・再生・保全に努めます。

ならびに、重要種の生息・生育・繁殖環境に配慮し影響の回避、低減に努め、必要に応じて代償措置等を行います。

整備計画【変更素案】に対する意見と整備計画(変更原案)における考え方

◆意見分類:河川整備の実施

<整備計画(変更原案)における記載内容>

5. 河川整備の実施に関する事項/5.1.1(3) 河道掘削等【変更原案106頁】

河道掘削の施工にあたっては、上記計画の留意点を踏まえ河川環境に与える影響が極力少なくなるよう、施工時期、施工方法等に配慮し、掘削工事の施工時には、濁水の発生を極力抑えながら、水質等のモニタリング調査を実施するとともに、掘削により発生する掘削土は堤防盛土等に利用する等、有効利用に努めます。

また、河積阻害構造物となっている道路橋等についても関係機関と協議して改築します。

<整備計画(変更原案)における記載内容>

5. 河川整備の実施に関する事項/~河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設等の機能の概要~【変更原案100頁】

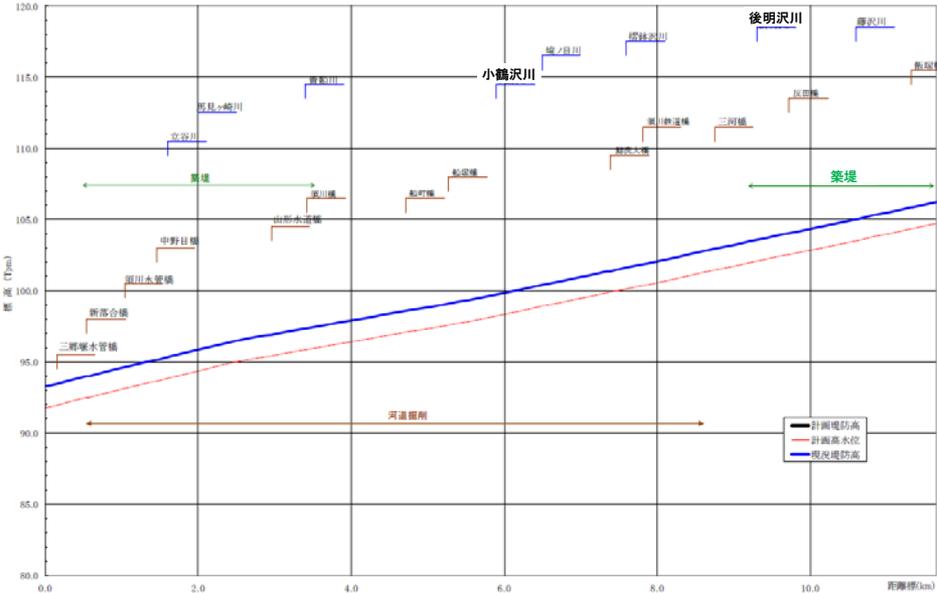


図 5-14 堤防縦断面図 須川(左岸)

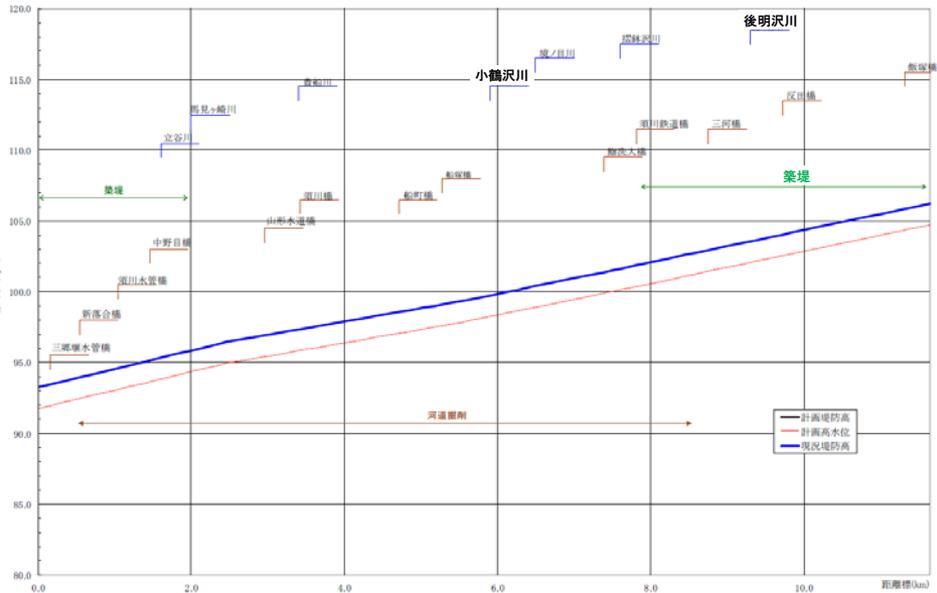


図 5-15 堤防縦断面図 須川(右岸)

整備計画【変更素案】に対する意見と整備計画(変更原案)における考え方

◆意見分類:河川整備の実施

○5.河川整備の実施に関する事項で、100ページ須川の築堤予定の区域が左岸(後明沢川付近まで)と右岸(須川鉄道橋付近)とで異なるが、浸水対策上は問題ないのか。

<対応方針>

堤防の整備は、河道の目標流量を安全に流下させるために、堤防の未施工箇所や堤防の高さや断面が不足する箇所において、各々の箇所の状況に沿って行っております。

須川の河川整備については、築堤は完了しており、残る事業としては河道掘削のみとなっております、計画通りに進捗しております。

<整備計画(変更原案)における記載内容>

5. 河川整備の実施に関する事項／5.1.1(1) 堤防の量的整備【変更原案92頁】

河道の目標流量を安全に流下させるために、家屋等への被害が生じる堤防未施工箇所および断面(堤防高や幅)が不足する箇所において堤防の整備を実施します。

なお、整備の効果を早期に発現させるため、上下流等の治水安全度のバランス及び他事業の計画とも調整し、住民との合意形成を図りながら段階的に整備を進めます。

注) 最上川における整備計画期間内の堤防整備の考え方

最上川の堤防整備にあたっては、早期の効果発現や整備後の安全度バランスに配慮する必要があることから、本計画では概ね次のケースで想定しています。

なお、早期治水効果発現のため、沿川の土地利用状況等(地域特性)を踏まえた治水対策(被害軽減対策)を実施します。

整備計画【変更素案】に対する意見と整備計画(変更原案)における考え方

◆意見分類:河川整備の実施

○現状河川沿いの堤防天端の舗装道は許可のない一般車両の進入を禁止していたのではないかとと思うのですが、舗装の整備を進展させるということであれば、幅員を考慮し、2輪車の進入を許可し、ツーリング用の道路として使用してはいかがでしょうか。

上記に関連して、防災ステーションに日常的使用が可能な休憩所を設けられればなお利便性が良いと思います。

<対応方針>

堤防天端は、堤防及び河川の巡視等を行うために必要な管理用通路（道路法上の道路ではない）であり、安全面において道路法の基準を満たしていないため、自動二輪車等の一般車両の通行を制限しております。

なお、一部区間においては堤防天端を兼用道路（道路法上の道路）として一般車両が通行できる区間やサイクリングロードとして自転車が通行できるよう占有許可をしている区間もあり、イベント等で堤防天端が利活用されている事例もあります。

また、河川防災ステーションは、洪水等の緊急時に備えて、土砂やブロック等の水防資材を備蓄しており、復旧活動の基地などとして利用するものです。また、平常時には、地域の人々による河川を中心とした文化活動や広報活動の拠点などに活用しておりますが、引き続き関係自治体等と利活用について検討を行っていきます。

<整備計画（変更原案）における記載内容>

3. 最上川の現状と課題／3.6地域との連携に関する事項

【変更原案84頁】

清川地区かわまちづくり



里山ウォーキングイベント



月山龍神マラソン

管理用通路や高水敷の整備により、「月山龍神マラソン」等の新たなイベント等が企画・実施され、地域の活性化に寄与しています。

◆意見分類:河川整備の実施

＜整備計画（変更原案）における記載内容＞

3. 最上川の現状と課題／3.1.10危機管理（2）水防活動の支援等

【変更原案63頁】

堤防の決壊や越水等の大規模災害の防止や被害を軽減するための備えとして、水防資機材の備蓄や災害対策車等を配備してきました。

地域と一体となった防災活動を進めるためには、県・市町村等の関係機関と連携し、河川情報の発信や水防活動、避難活動等の拠点づくりが重要です。

このため、最上川においては、東村山地区及び真室川地区に河川防災ステーションを設置しています。今後も大規模災害等への備えとして、他の地区においてもこれらの機能をより充実させることが重要です。

整備計画【変更素案】に対する意見と整備計画(変更原案)における考え方

◆意見分類:河川整備の実施

○治水、利水、環境が総合的に達成できるようしっかり計画して下さい。

<対応方針>

最上川においては、河川法の三つの目的、1)洪水、高潮等による災害発生の防止または軽減 2)河川の適正な利用と流水の正常な機能の維持 3)河川環境の整備と保全 が総合的に達成できるよう、平成11年12月に「最上川水系河川整備基本方針」を策定し、これに沿って当面実施する河川工事の目的・種類・場所等の具体的事項を示した法定計画として、平成14年11月に「最上川水系河川整備計画」を策定し、整備にあたっています。

<整備計画(変更原案)における記載内容>

1. 計画の基本的考え方/1.1 計画の趣旨【変更原案1頁】

近年、河川をとりまく状況は大きく変化しています。河川流域では過去に幾度もの洪水や濁水に見舞われただけでなく、最近ではこれまでに経験したことのない規模の豪雨や台風、濁水による被害が全国各地で頻発しており、地球温暖化に伴う気候変動が及ぼす影響についての懸念が増すとともに、産業の高度化、国民生活水準の向上、少子高齢化、地球環境問題に対する関心の高まり、生物多様性基本法の制定等といった社会経済情勢の変化に伴い、河川に対しても良好な環境の整備と保全を求める国民のニーズが増大しています。

最上川は、一つの県で源流から河口まで流れる河川であり、古くから交通手段として活用されてきましたが、江戸時代に舟運が発展し経済の大動脈となり、物資の輸送とともに文化の交流がもたらされ、河口部の酒田港をはじめ、各地に大規模な河岸と船着場よねざわやまがたしょうないが発達、現在の都市を形成するとともに、上流の米沢盆地、中流の山形盆地、下流の庄内平野と何れも屈指の穀倉地帯を抱えており、流域内の社会、経済、文化の基軸として、大きな役割を担っています。

◆意見分類:河川整備の実施

＜整備計画（変更原案）における記載内容＞

1. 計画の基本的考え方／1.1 計画の趣旨【変更原案1頁】

最上川の河川整備にあたっては、治水、利水の役割を担うのはもちろんのこと、うるおいのある生活周辺環境としての役割も期待され、地域の風土や文化の形成、動植物の生息・生育・繁殖の場等、多様な視点からの川づくりが求められています。

このような最上川流域の自然、社会、歴史、文化を踏まえ、「最上川水系河川整備計画（大臣管理区間）」（以下、「本計画」という。）は、安全・安心が持続でき、豊かな自然を次世代へ受け継ぎ、さらには流域の人と自然と社会が調和した活力ある地域を創造する最上川の整備を目指します。

なお、本計画は、河川法の三つの目的が総合的に達成できるよう、河川法第16条に基づき、平成11年12月に策定された「最上川水系河川整備基本方針」に沿って、当面実施する河川工事の目的・種類・場所等の具体的事項を示す法定計画として、平成14年11月に策定されました。

今回、整備計画策定より15年が経過し、社会情勢の変化・法律改正及び新たに出された答申等を踏まえ、本計画の変更を行うものです。

整備計画【変更素案】に対する意見と整備計画(変更原案)における考え方

◆意見分類:環境

○「最上川源流ジオパーク」の提案の本文は、米沢御堀端史蹟保存会が42年に渡って毎年1回4月に発行している会報「懐風」の本年号に寄稿、掲載されたものです。この度の応募にはこの本文のままで良いかと判断し、このまま応募、提案させていただきました。是非、御検討下さい。

※米沢御堀端史蹟保存会会長より「最上川源流ジオパーク」について、以下の提案がありました。

①「最上川資料館」の設営

最上川を始め周辺都市と地域の特性や、歴史と文化、産業の資料を展示する。

②「淡水魚類水族館」の設営

全国のあらゆる淡水魚を展示する。

③「最上フィッシングパーク」の設営

最上川に魚種毎に区分した釣り場を設ける。

④「最上フラワーパーク」の設営

山形県には植物園が無いことから、温室のある総合植物園を設ける。

<対応方針>

国土交通省では地元自治体や関係団体等と連携し、野川まなび館（長井市）、水の文化館（西川町）、さみだれ大堰フィッシュギャラリー（酒田市）等で、最上川の特性、歴史や水文化、産業、自然環境等についてPRに取り組んでいます。

最上川での釣り場設置等の提案がありましたが、河川管理者としまして、動植物・魚類の生息・生育・繁殖状況の保全に引き続き取り組んでいきます。

<整備計画（変更原案）における記載内容>

4. 河川整備の目標に関する事項／4.3.2(1) 動植物の生息・生育・繁殖環境の保全

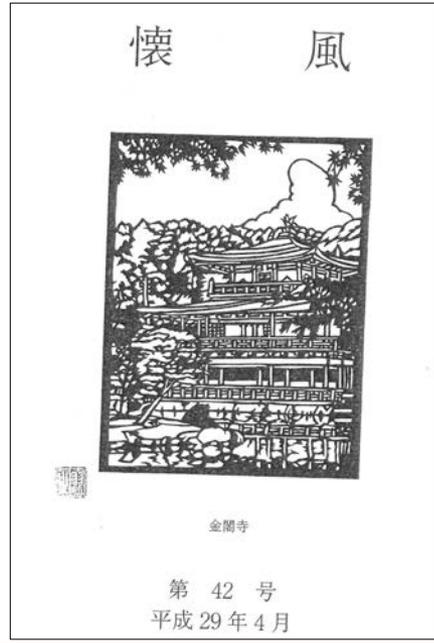
【変更原案89頁】

多様な動植物を育む瀬・淵やワンド・たまり、河岸、河畔林、砂州等の定期的なモニタリングを行いながら、河道内の樹木等の適正な管理、重要な湿地性植物等の生息・生育・繁殖環境へ配慮するとともに、サケ科魚類やアユ等の回遊性魚類の遡上環境等の連続性の維持や産卵床の保全等、良好な河川環境の保全・再生・創出に努めます。

◆意見分類:環境

懐風 第42号 平成29年4月より抜粋

表紙



して世界的に広まったが、狭隘な日本の河川ではまだあまり普及していない。釣り場は魚種ごとに区分し、釣り人のジャンルを満足させるものとする。イトウ、アメマスからウケクチウグイ、オイカワ、さらにコイ、フナ、タナゴまで挑戦できる「湖川釣りのメッカ最上川」を謳う。併設する養鱒場において、仮称「最上マス」あるいは「最上トラウト」を生産し、釣り、生食用加工用の他、特に魚卵(イクラ)は美味で見た目にも美しく商品価値は高いと見えています。米沢牛、米沢鯉に並ぶブランド品として内外へ発信出来ると見えます。白鷹のアユ、川西のモロコも加えて「川魚の郷・置賜」をぶち上げたいと思います。

四、「最上フラワーパーク」の設営
山形県には植物園がありません。バラ園、ユリ園、山草園は点在しますが、教育、情操施設としての、温室のある総合植物園がありません。置賜地方は準高冷地で、周辺の植生や農産物も特徴的です。準高原野菜が採れ、食味の良い等級ブランド米や青果物は勿論のこと、山菜キノコ、ウコギ、ベニバナ、雪菜、青菜などを打ち出した販売プ

ス是集客力があると思われる。また、花卉園芸については、置賜地方の季節や昼夜の温度差は、あらゆる草木花の花色の発色と花保ちに際立った効果を示し、これは木々の紅葉にも表れて、他県には見られない、目を見張るものがあります。だからリングも赤くて甘いのですね。

「最上フラワーパーク」もしくは「最上植物園」をも、観光客誘致の一拠点として、なおかつ置賜地方の、花卉、果樹、蔬菜の産業や、地域住民の「花いっぱい運動」の発信教育地点にすれば良いと考えます。ゲート付近の草っ原に黒毛和牛や山羊が草を食む風景も面白いかと思えます。植物園の中を流れる小溪流で、「最上マス」の湖上・産卵を見てもらうのは大いに受けると考えます。

温泉熱を利用した温室での、暖かい地域の花や果樹、観賞植物の栽培展示は意外性もあり、温泉客誘致の目玉ともなるでしょう。

「最上川源流ジオパーク」に関する開発案

一、「最上川資料館」の設営
最上川を始め周辺都市と地域の特性や、歴史と文化、産業の資料を、最上川ミュージアムとして展示します。

二、「淡水魚類水族館」の設営
特異性があり集客力は高いと思われます。全国発信が可能なテーマで、日本国内のあらゆる淡水魚を展示します。中途半端な規模は逆効果となります。

三、「最上フィッシングパーク」の設営
規模は驚異的に大きくし、日本には極めて少ないフライフィッシングゾーンを設ける。フライフィッシングは、釣り文化の頂点、紳士の釣りと

整備計画【変更素案】に対する意見と整備計画(変更原案)における考え方

◆意見分類:維持管理

○昔は河原で遊ぶことが多くありましたが、現在は河川に多くの草木が生い茂り、景観上も好ましくなないように思います。治水対策(築堤・樋門など)も必要かと思いますが、景観も考慮した整備をお願いしたい。

<対応方針>

河道内における樹木の繁茂は、洪水時に流下能力を低下させる原因となるため、定期的な調査を実施し、治水対策だけでなく環境面も考慮した上で、必要に応じて伐採など樹木の管理を実施していきます。また、美しい最上川の景観を変えることのないよう、地域と連携した河川空間の保全・形成に努めて参ります。

<整備計画(変更原案)における記載内容>

5. 河川整備の実施に関する事項／5.2.1(3)2) 樹木管理 【変更原案139頁】

樹木の成長や繁茂の状況を定期的に調査し、河道内樹木の繁茂・拡大により洪水を安全に流下させる上で支障となっている箇所や樹木群への土砂堆積により水際の陸地化が進行し最上川本来の景観や自然環境を変化させている箇所について、治水・環境の両面から適切に評価し、必要に応じて伐採等の樹木管理を実施します。

<整備計画(変更原案)における記載内容>

5. 河川整備の実施に関する事項／5.1.3(2) 良好な景観の保全 【変更原案121頁】

河川景観の評価が高い箇所においては、河川工事等による景観改変を極力小さくするよう努め、良好な景観の保全に努めます。

地域の自然、歴史、文化等の地域固有の特性と密接に関連する良好な景観を有する区域に対して河川整備等を行う場合は、県、市町村、NPO法人、地元住民等の意見を踏まえ、地域と連携して周囲と調和した景観に配慮し河川空間の保全・形成に努めます。

また、舟運時代の名残を活用した歴史的景勝地等は必要に応じて修景(大石田町等)を実施します。

整備計画【変更素案】に対する意見と整備計画(変更原案)における考え方

◆意見分類:危機管理体制の整備・強化

○全体的な計画としてはまとまっていると思います。やはり集中豪雨などによる氾濫や堤防の決壊などが心配なので、安全対策をハード・ソフト両面から充実してほしいと考えています。

<対応方針>

既設堤防の安全性が十分でない堤防に対して、質的な強化を図る対策を実施します。また、堤防等の施設の能力を上回る洪水を想定した対策を、必要な箇所に実施します。

関東・東北豪雨(H27.9)を踏まえ、万一の洪水氾濫に対し、国・県のみならず、市町村と一体となって、社会全体で対応する仕組みの構築・実施に向けて進めていきます。

<整備計画(変更原案)における記載内容>

5. 河川整備の実施に関する事項／5.1.1(2) 堤防の質的整備【変更原案103頁】

現在の堤防の多くは、古くからその地域の社会的、経済的背景に応じた材料や施工によって、築造や拡築、補強を重ねた長大かつ歴史的な構造物であり、基礎地盤も含めてその内部構造及び特性が千差万別であり不明な点も多く、既設堤防の構造物としての信頼性や一連区間にわたる安全性が必ずしも十分ではない場合があります。

このため、堤防の浸透に対する詳細点検や、平成24年7月九州北部豪雨災害の堤防決壊・越水被害等を受けて実施した緊急点検、東北地方太平洋沖地震の河川堤防の耐震対策に関する技術的知見も踏まえた地震等に対する安全性の点検を行い、質的整備の必要な区間については、背後地の人口・資産、重要水防箇所(被災実績等)の状況等を勘案し、必要に応じて実施時期の見直しを行いながら対策を実施します。

◆意見分類:危機管理体制の整備・強化

<整備計画(変更原案)における記載内容>

5. 河川整備の実施に関する事項／5.1.1(6) 施設の能力を上回る洪水を想定した対策 【変更原案111頁】

堤防や洪水調節施設等の施設の能力を上回る洪水に対しても被害の軽減を図るため、上下流等の治水安全度のバランスに配慮した段階的な整備を踏まえ、越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策を危機管理型ハード対策として関東・東北豪雨を契機に設定した区間など水害リスクが高い区間において実施します。

地球温暖化に伴う気候変動による短時間強雨の発生頻度の増加に伴い、水位の急激な上昇が頻発することが想定されることから、樋門・樋管等の確実な操作と操作員の安全確保のために、操作の遠隔化や無動力化を進めることにより、操作員の安全を確保するとともに、迅速、確実な操作により被害の軽減に努めます。

<整備計画(変更原案)における記載内容>

5. 河川整備の実施に関する事項／5.2.3 危機管理体制の整備、強化 【変更原案148頁】

本計画の目標達成までには概ね30年の期間を要するため、整備途中段階での災害発生が懸念されます。また、東北地方太平洋沖地震等の巨大地震や地球温暖化に伴う気候変化による海面の上昇、短時間の集中豪雨や局所的豪雨の激化等により、現在の施設能力や計画規模を上回る洪水の発生など想定を超える災害が発生する恐れもあります。

こうした災害発生時においても被害が最小限となるよう、国、県・市町村等の関係機関における相互の情報共有や支援体制の構築を図ります。

また、大規模な水災害による被害を最小化するためには、インフラによる予防策に加え、災害が発生することを前提とした対応を強化することが重要であるため、時間軸に沿った防災行動計画(タイムライン)策定に向けて関係機関と取り組んでいきます。

最上川に関する意見募集について (事務局提案)

●意見募集の目的

より良い川づくり, 河川管理のために、最上川で実施している事業についての質問・意見、河川堤防等施設の不具合やその他広く最上川に関して日頃から気になっている事などを具体的に聞かせていただくことを目的に県内事務所HPに「ご意見箱」を設置する。

●意見募集の対象

最上川やその支川、また、堤防やダムなどの施設について。
河川整備計画や現在行われている工事・維持管理について。
水害や土砂災害に関すること。また、防災に関すること。
水辺の楽校, 水辺プラザなど環境整備について。
その他、河川に関する疑問やご意見など。

●意見の提出方法

インターネット

山形河川国道事務所ホームページにバナーを貼り付け、意見募集のページへジャンプさせる。

●意見などに関するQ&Aのイメージ

いただいた主な意見について、回答を付けて紹介する。



みなさまからのご質問やご意見のメールと、それに対する事務所の返答をホームページ上で最上川Q&A形式にて公開しています。

Q 河川の治水・防災について

最上川の治水や防災に対する取り組み、工事に関する質問などを紹介しています。

▶ [最上川の治水について](#)

▶ [最上川の工事について](#)

Q 河川環境について

最上川にすむ生き物や水質、水位などについての質問などを紹介しています。

▶ [最上川の生物について](#)

▶ [最上川の水質・水位などについて](#)

●インターネットによる意見提出様式イメージ

名前(必須)	<input type="text"/> (全角)													
ふりがな(必須)	<input type="text"/> (全角)													
E-mail(必須)	<input type="text"/> (全角)													
郵便番号(必須)	<input type="text"/> (半角)****-****													
都道府県(必須)	山形県 <input type="button" value="▼"/> 選択してください													
市・郡(必須)	<input type="text"/>													
町・村・区	<input type="text"/>													
番地	<input type="text"/>													
電話番号	<input type="text"/> (半角)****-*****-****													
年齢	<input type="radio"/> 10代未満 <input type="radio"/> 10代 <input type="radio"/> 20代 <input type="radio"/> 30代 <input type="radio"/> 40代 <input type="radio"/> 50代 <input type="radio"/> 60代 <input type="radio"/> 70代													
性別	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性													
ご職業(必須)	<input type="radio"/> 小学生 <input type="radio"/> 中学生 <input type="radio"/> 高校生 <input type="radio"/> 大学生 <input type="radio"/> 会社員 <input type="radio"/> 公務員 <input type="radio"/> 自営業 <input type="radio"/> パートアルバイト <input type="radio"/> 自由業 <input type="radio"/> 主婦 <input type="radio"/> 無職 <input type="radio"/> その他													
このHPはどこで知りましたか?	<input type="checkbox"/> 検索エンジン <input type="checkbox"/> 国土交通省HPから <input type="checkbox"/> その他HPから <input type="checkbox"/> バンフレットなどのアドレスから <input type="checkbox"/> その他													
ご意見・ご質問される該当する項目(必須)	<p>最上川について</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="radio"/> 最上川の歴史や洪水の被害について</td> <td><input type="radio"/> 堤防やダム、遊水地について</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 防災への取組について</td> <td><input type="radio"/> 最上川で行われている工事について</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 最上川の生き物について</td> <td><input type="radio"/> 最上川の水位や水質について</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 河川敷や公園などの利用について</td> <td><input type="radio"/> 川の利用における迷惑行為について</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 堤防の維持管理について</td> <td><input type="radio"/> ゴミの不法投棄について</td> </tr> </table> <hr/> <p>最上川で開催の委員会などについて</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="radio"/> 最上川水系河川整備計画について</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 減災に係る取組について</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 村山・置賜地区 災害情報普及協議会について</td> </tr> </table> <hr/> <p>その他</p> <p><input type="radio"/> その他お問合せ、ご意見</p>	<input type="radio"/> 最上川の歴史や洪水の被害について	<input type="radio"/> 堤防やダム、遊水地について	<input type="radio"/> 防災への取組について	<input type="radio"/> 最上川で行われている工事について	<input type="radio"/> 最上川の生き物について	<input type="radio"/> 最上川の水位や水質について	<input type="radio"/> 河川敷や公園などの利用について	<input type="radio"/> 川の利用における迷惑行為について	<input type="radio"/> 堤防の維持管理について	<input type="radio"/> ゴミの不法投棄について	<input type="radio"/> 最上川水系河川整備計画について	<input type="radio"/> 減災に係る取組について	<input type="radio"/> 村山・置賜地区 災害情報普及協議会について
<input type="radio"/> 最上川の歴史や洪水の被害について	<input type="radio"/> 堤防やダム、遊水地について													
<input type="radio"/> 防災への取組について	<input type="radio"/> 最上川で行われている工事について													
<input type="radio"/> 最上川の生き物について	<input type="radio"/> 最上川の水位や水質について													
<input type="radio"/> 河川敷や公園などの利用について	<input type="radio"/> 川の利用における迷惑行為について													
<input type="radio"/> 堤防の維持管理について	<input type="radio"/> ゴミの不法投棄について													
<input type="radio"/> 最上川水系河川整備計画について														
<input type="radio"/> 減災に係る取組について														
<input type="radio"/> 村山・置賜地区 災害情報普及協議会について														
表題(必須)	<input type="text"/>													
ご意見・ご質問・ご感想(必須)	<input type="text"/>													
添付画像	<input type="button" value="参照..."/> ※1MB以内 JPG画像形式のみ													